



2017年9月13日  
土木学会H29年度全国大会（福岡）

# 東北インフラ・マネジメント・ プラットフォームの構築と展開

東北大学大学院工学研究科  
インフラ・マネジメント研究センター  
渡邊 弘子

# 本研究の背景

社会インフラの適切な維持管理は喫緊の課題



笹子トンネル天井版崩落事故  
(2012年12月)



木曾川大橋  
斜材破断事故  
(2007年)



水道管の老朽化による道路陥没  
(年間5000件以上)

# 本研究の背景

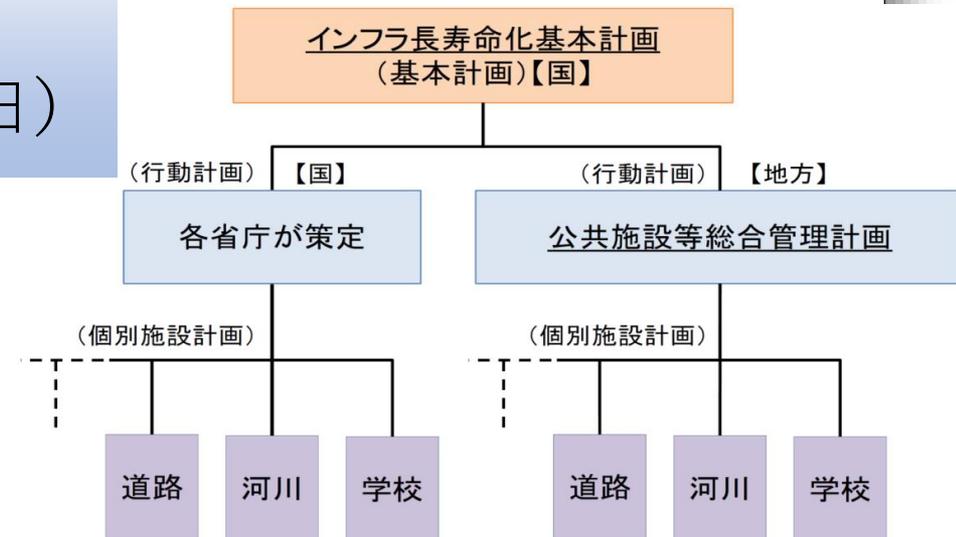
## 道路の老朽化対策の本格実施に関する提言

社会資本整備審議会 道路分科会（2014年4月14日）

I. 最後の警告—今すぐ本格的なメンテナンスに舵を切れ

## 公共施設等総合管理計画 の策定要請

総務省（2014年4月22日）



# 東北地方の置かれた状況



寒冷地特有の厳冬による損傷



東日本大震災による地震と津波の被災



東日本大震災の後遺症



復興の本格化に伴うインフラの酷使

# 東北大と東北地整の連携協定締結

## 社会資本維持管理研究

### 東北大、整備局と連携協定

東北大は18日、道路や河川、下水道など社会資本の維持管理に向けた連携協定を東北地方整備局と締結した。社会資本の老朽化対策や長寿命化を研究する「インフラマネジメント研究センター」を来年1月に新設する方針も明らかにした。協定に基づき、東北大は道路などの老朽化状況に関するデータの提供を受け、研究センターで分析する。結果は、技術者が不足する市町村の維持管理業務支援に生かす。社会資本の維持管理に精通した人材を育成するため、東北大と整備局による新たな資格制度の導入も検討していく。

仙台市青葉区の東北大片平キャンパスであった調印式では、東北大の里見進総長と整備局の小池剛局長が協定書を交わした。里見総長は「連携によって効果的な対策を生み出したい」と述べた。小池局長は「協定を核に東北大との連携を進める」と語った。



協定書を交わし、握手する小池局長（左）と里見総長

2013年12月18日

2013年12月19日 河北新報

## 2014年1月15日開所式



- 自治体の技術支援
- 人材育成
- インフラの維持管理に関する研究

### 東北大インフラ研開設 市町村の維持管理を支援

東北大は15日、道路や橋など社会資本の老朽化対策や長寿命化を後押しする「インフラマネジメント研究センター」を大学院工学研究科内に開設した。技術者が不足する市町村のインフラの維持管理業務を支援する。

昨年12月に連携協定を結んだ東北地方整備局から道路などの老朽化状況に関するデータの提供を受ける。データの分析結果を基に、老朽化の判断方法などを検討する。市町村職員への研修を実施するなどして、社会資本の維持管理に精通した人材育成にも力を入れる。

構成員は、センター長の久田真教授、研究員ら計7人。先行して社会資本の老朽化対策に取り組む長崎大のインフラ長寿化センターと協力する。

仙台市青葉区の東北大川内秋ホールで開所式があり、金井浩一学研科長が「国のデータと大学の知識を融合し、課題を

2014年1月16日 河北新報

# 東北大学インフラ・マネジメント・ プラットフォーム 設立



2017年1月30日キックオフ  
2017年5月18日第1回協議会



# プラットフォームの構成組織



- ・インフラマネジメント研究センター（工学）
- ・震災復興研究センター（経済）

- ・八戸工業大学
- ・岩手大学
- ・秋田大学
- ・日本大学

- ・国土交通省  
東北地方整備局

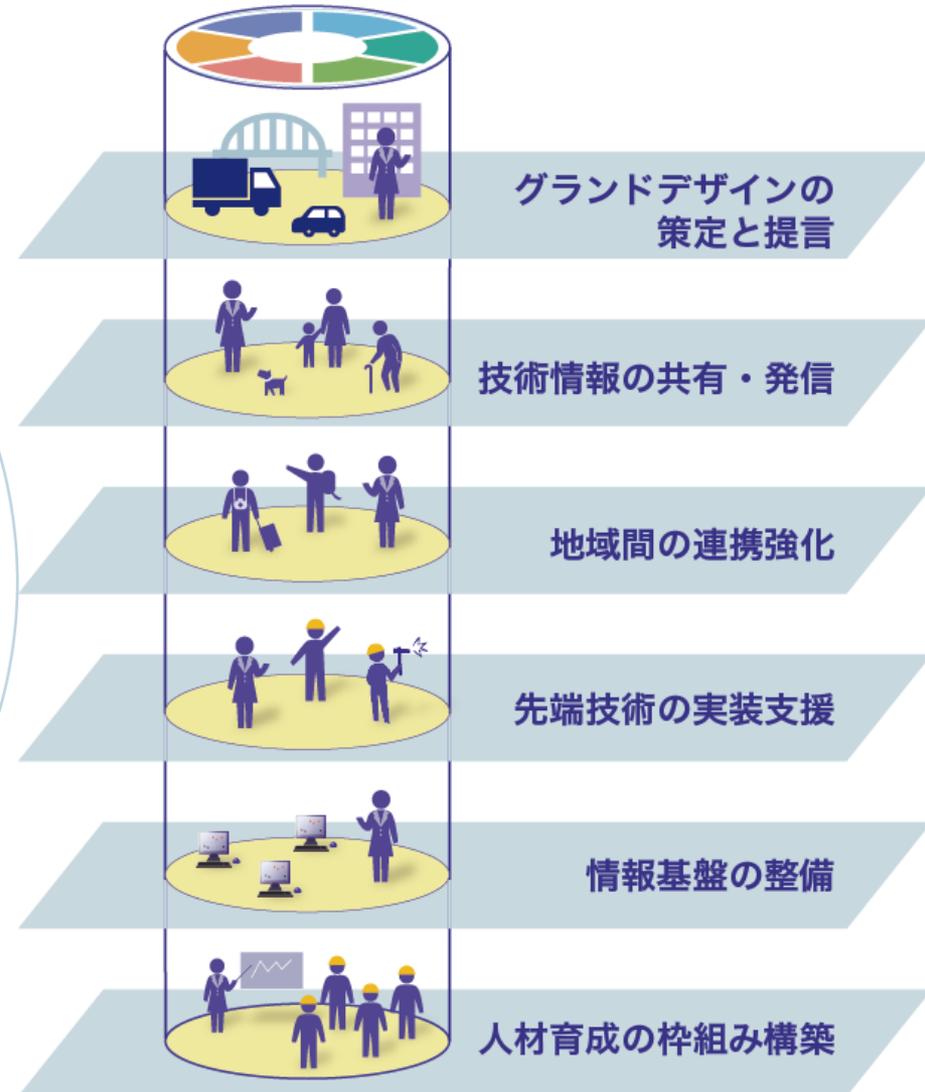
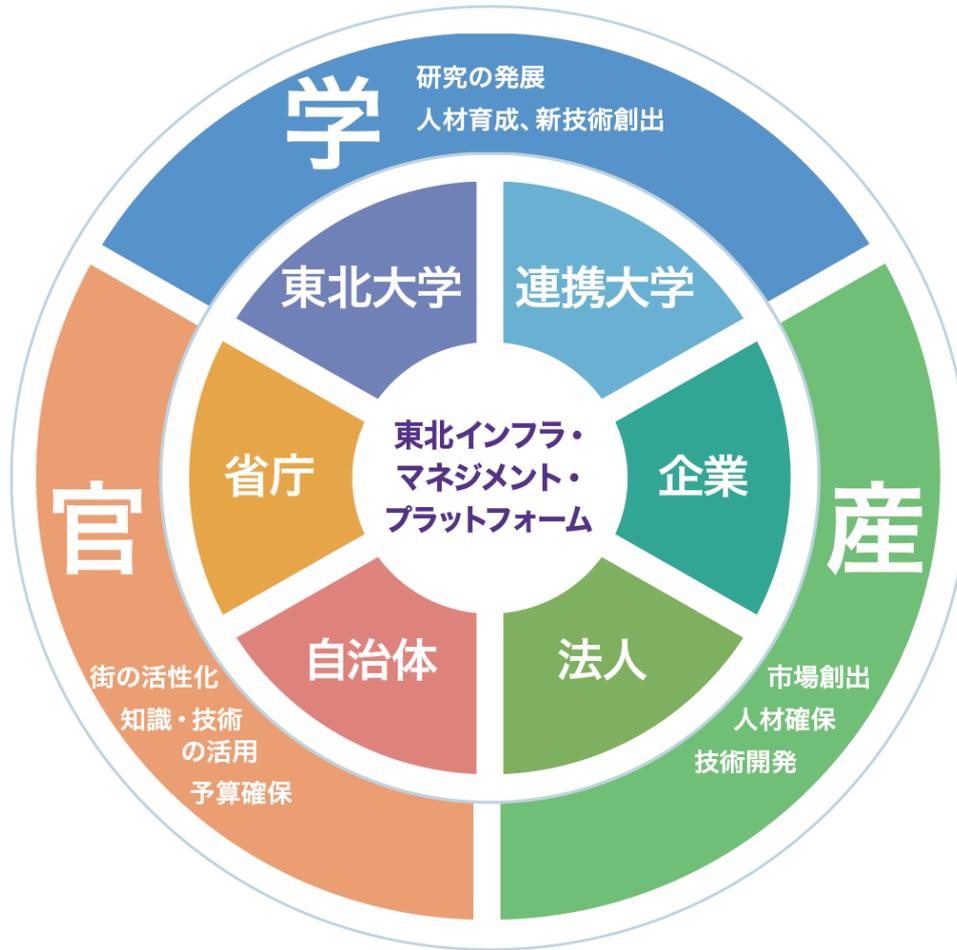
- ・東日本高速道路（株）  
東北支社
- ・（株）ネクスコ・  
エンジニアリング東北



- ・宮城県土木部
- ・仙台市建設局
- ・岩沼市
- ・名取市
- ・山形県県土整備部
- ・上山市

- ・（一社）東北地域づくり協会
- ・（公財）山形県建設技術センター
- ・（公社）宮城県建設センター
- ・建設コンサルタンツ協会東北支部
- ・東北測量設計協会

# プラットフォームの活動テーマ





# プラットフォームの活動例 2



## 次世代人材育成や情報発信

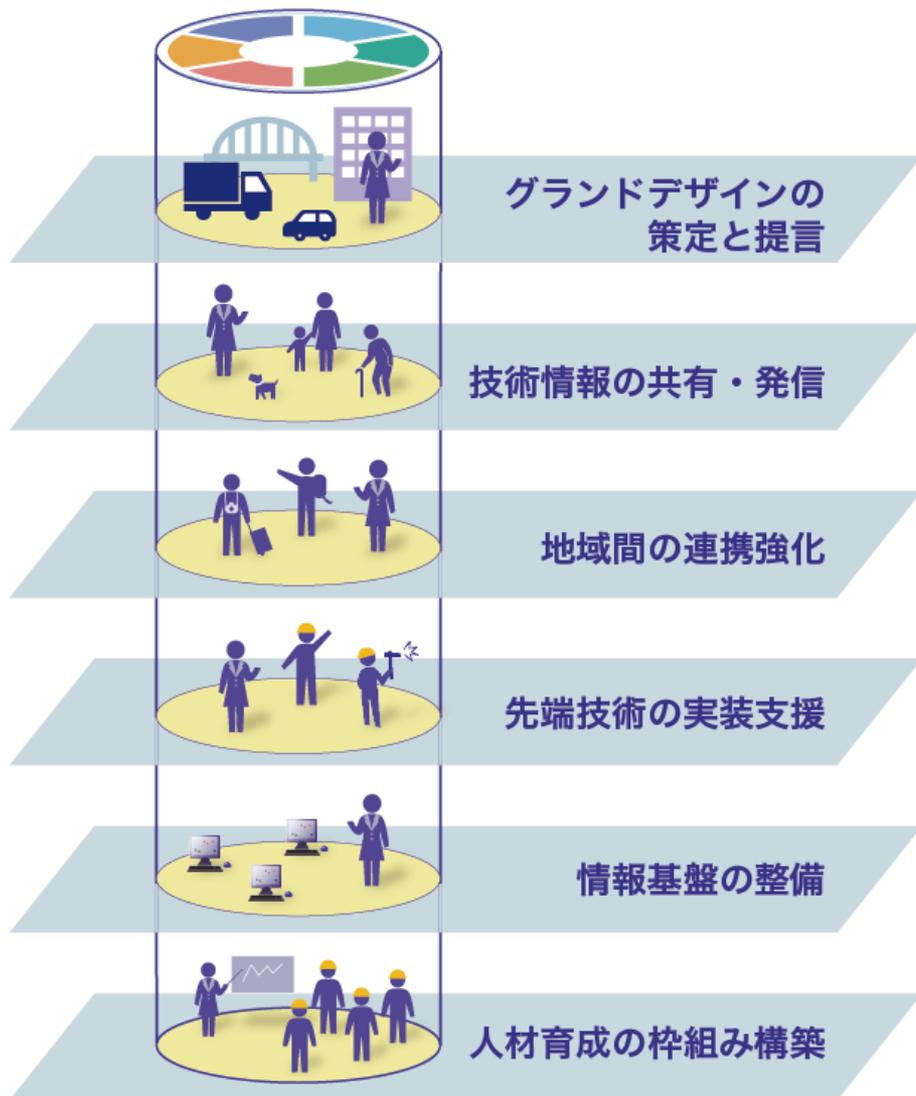


自治体管理者向けの現地研修

学生および市民への公開講座



# 今後の課題と展望



- 東北地域全体での活動の推進
- 研究成果の社会実装
- 人材育成制度の構築など